



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福
コード番号 3440 URL <https://www.kakou-nisso.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績（2024年9月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	5,620	51.0	384	13.2	395	8.1	241	△7.9
2024年8月期第1四半期	3,721	63.0	339	144.5	366	143.7	262	248.4

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 241百万円 (△7.8%) 2024年8月期第1四半期 261百万円 (244.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	36.93	—
2024年8月期第1四半期	40.13	40.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	25,428	12,078	47.5
2024年8月期	22,405	12,058	53.8

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 12,078百万円 2024年8月期 12,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,800	28.3	850	4.4	890	4.9	587	△2.6	89.69
通期	20,200	14.2	1,281	0.4	1,368	0.4	914	△16.5	139.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社 (社名) 大鳳株式会社、フォームテックス株式会社、除外 1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記) をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年8月期1Q	6,832,500株	2024年8月期	6,800,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	278,236株	2024年8月期	255,386株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年8月期1Q	6,554,264株	2024年8月期1Q	6,540,650株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の実績	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が期待される一方で、物価上昇やアメリカの政策動向、中東情勢、金融資本市場の変動など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「第4次中期経営計画～『創る』力で未来に挑む企業グループ～」に基づき、M&A投資によりウレタン素材のパッキン等の販売会社である大鳳株式会社の全株式を取得し、同社を当社の子会社といたしました。また、同社の子会社であるフォームテックス株式会社を当社の孫会社といたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、主として金属加工事業においては金属サンドイッチパネル、建築事業においては太陽電池アレイ支持架台及び内装パネル工事が伸長したことで、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,620百万円（前年同四半期比51.0%増）、営業利益は384百万円（同13.2%増）、経常利益は395百万円（同8.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は241百万円（同7.9%減）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。当第1四半期連結会計期間より、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、報告セグメントの名称を「ゴム加工事業」から「化成品事業」に変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

(金属加工事業)

金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の売上高が増加したものの、材料比率が上昇したことに伴い売上高は2,013百万円（前年同四半期比14.0%増）、セグメント利益は282百万円（同29.1%減）となりました。なお、受注高は1,428百万円（同39.3%減）、受注残高は2,182百万円（同40.0%減）となりました。

(化成品事業)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組み、一定の受注を確保しましたが、売上高は239百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益は15百万円（同46.7%減）となりました。なお、受注高は242百万円（同7.9%増）、受注残高は265百万円（同192.9%増）となりました。また、2024年10月16日付けで大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社を連結子会社化いたしました。みなし取得日を2024年11月30日としているため、当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、これら2社に関する業績は同セグメントに含まれておりません。

(建設事業)

太陽電池アレイ支持架台及び内装パネルの工事が伸長したことで、売上高は1,955百万円（前年同四半期比340.0%増）、セグメント利益は212百万円（前年同四半期は24百万円のセグメント損失）となりました。なお、受注高は1,089百万円（同23.5%減）、受注残高は3,945百万円（同20.5%増）となりました。

(タイル事業)

新商品及び自社湿式タイルのPR活動に積極的に取り組み、売上高は1,258百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は31百万円（同12.9%減）となりました。なお、受注高は1,121百万円（同5.7%減）、受注残高は929百万円（同28.2%減）となりました。

(その他)

売上高は152百万円、セグメント損失は31百万円となりました。なお、受注高は141百万円、受注残高は40百万円となりました。

(注) セグメント利益又は損失の合計額と営業利益との差異△124百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,517百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が497百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,887百万円、電子記録債権が227百万円、商品及び製品が123百万円それぞれ増加し、流動資産のその他が177百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は8,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ505百万円増加いたしました。これは主にのれんが325百万円、投資その他の資産のその他が102百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は25,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,022百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9,495百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,205百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が563百万円、工事未払金が358百万円、短期借入金が2,180百万円それぞれ増加し、未払法人税等が109百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は3,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が285百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,003百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益241百万円の計上及び剰余金の配当229百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.5%（前連結会計年度末は53.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月15日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,153	6,651
受取手形、売掛金及び契約資産	3,318	5,205
電子記録債権	1,441	1,668
商品及び製品	1,213	1,336
仕掛品	871	783
未成工事支出金	141	186
原材料及び貯蔵品	855	864
その他	316	139
貸倒引当金	△8	△15
流動資産合計	14,303	16,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,372	2,364
機械装置及び運搬具(純額)	1,592	1,515
土地	2,821	2,863
リース資産(純額)	48	85
建設仮勘定	6	23
その他(純額)	86	80
有形固定資産合計	6,928	6,933
無形固定資産		
のれん	535	860
その他	110	125
無形固定資産合計	646	985
投資その他の資産		
投資有価証券	196	254
その他	341	443
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	528	689
固定資産合計	8,102	8,607
資産合計	22,405	25,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	704	1,268
工事未払金	134	492
短期借入金	2,570	4,750
1年内返済予定の長期借入金	1,139	1,191
未払法人税等	216	107
賞与引当金	131	211
その他	1,393	1,473
流動負債合計	6,290	9,495
固定負債		
長期借入金	3,442	3,157
退職給付に係る負債	146	169
資産除去債務	232	235
その他	235	291
固定負債合計	4,056	3,854
負債合計	10,346	13,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176	1,190
資本剰余金	1,096	1,110
利益剰余金	9,984	9,997
自己株式	△204	△224
株主資本合計	12,054	12,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	3
その他の包括利益累計額合計	4	3
純資産合計	12,058	12,078
負債純資産合計	22,405	25,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	3,721	5,620
売上原価	2,583	4,296
売上総利益	1,137	1,324
販売費及び一般管理費	798	940
営業利益	339	384
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
売電収入	7	8
その他	27	16
営業外収益合計	36	26
営業外費用		
支払利息	8	13
その他	1	1
営業外費用合計	10	14
経常利益	366	395
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	0	—
投資有価証券売却損	4	—
ゴルフ会員権売却損	2	—
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	364	396
法人税、住民税及び事業税	75	94
法人税等調整額	26	59
法人税等合計	101	154
四半期純利益	262	241
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	262	241

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	262	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
四半期包括利益	261	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	241
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

また、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書き及び2022年改正適用指針第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	103百万円	146百万円
のれんの償却額	16	22

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイヤ事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	1,766	257	444	1,253	3,721	0	3,721	—	3,721
その他の収益	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	1,767	257	444	1,253	3,721	0	3,721	—	3,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	61	0	—	0	61	—	61	△61	—
計	1,828	257	444	1,253	3,783	0	3,783	△61	3,721
セグメント利益又は損失(△)	398	29	△24	35	438	△7	431	△91	339

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ものづくりWEBサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△91百万円は、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△100百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業	化成品事業	建設事業	タイヤ事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	2,013	239	1,955	1,258	5,467	152	5,620	—	5,620
その他の収益	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	2,013	239	1,955	1,258	5,468	152	5,620	—	5,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	418	0	—	0	418	5	424	△424	—
計	2,432	239	1,955	1,258	5,886	158	6,045	△424	5,620
セグメント利益又は損失(△)	282	15	212	31	540	△31	509	△124	384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び木材加工を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△124百万円は、セグメント間取引消去13百万円、子会社株式の取得関連費用△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化成品事業」において、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては347百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、報告セグメントの名称を「ゴム加工事業」から「化成品事業」に変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	1,889	163.0
化成品事業	148	106.4
タイル事業	233	105.3
合計	2,272	149.4

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。
3. 当社は、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社を連結子会社化いたしました。みなし取得日を当第1四半期連結会計期間末(2024年11月30日)としているため、化成品事業において、両社の生産実績は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)			
	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	1,428	60.7	2,182	60.0
化成品事業	242	92.1	265	292.9
建設事業	1,089	76.5	3,945	120.5
タイル事業	1,121	94.3	929	71.8
その他	141	—	40	—
合計	4,024	77.0	7,364	88.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 当社は、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社を連結子会社化いたしました。みなし取得日を当第1四半期連結会計期間末(2024年11月30日)としているため、化成品事業において、両社の受注高は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	2,013	114.0
化成品事業	239	93.2
建設事業	1,955	440.0
タイル事業	1,258	100.5
その他	152	—
合計	5,620	151.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 当社は、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社を連結子会社化いたしました。みなし取得日を当第1四半期連結会計期間末(2024年11月30日)としているため、化成品事業において、両社の販売実績は含まれておりません。
 3. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)		当第1四半期連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社大林組	—	—	979	17.43

前第1四半期連結会計年度の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。